

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	山梨大学	整理番号	H - 1
拠点のプログラム名称	アジアモンスーン域流域総合水管理研究教育		
中核となる専攻等名	工学研究科社会・情報システム工学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 竹内 邦良 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>アジアモンスーン地域の持続的水マネジメントに必要な流域総合水管理技術を、水文・水質の「先端技術」開発と、個別的「流域風土」のドッキングにより、実践的に研究教育するための拠点を形成する。「国際流域総合水管理特別コース」を設置し、気象・水文・水資源一貫モデル、水質評価・処理・修復一貫技術の先端技術を研究教育すると共に、「バーチャルアカデミー」を開設して研究成果をWeb上に公開し、各国の流域管理の前線技術者が、自ら利用できるようにする。特別コースは、海外でのAO入試を実施し、講義は英語で行う。バーチャルアカデミー参加者は毎年問題点を持ち寄り、拠点の招聘研究者、学生、教官と共に学習会を開く。これを通じて、前線技術者は先端技術の恩恵を現地に应用することができ、拠点は研究内容を自己発見的に進化させて、社会的ニーズに応えていくことができる。本拠点を継続的に運営する環境として、同窓留学生、研修生をコアとし、ユネスコなどの国際活動とリンクした、国際流域ネットワークを形成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>世界的な自然環境の変化を背景として、アジア・モンスーン地域の持続的水マネジメントの問題は当該地域のみならず世界的にも極めて重要な問題である。本プログラムは、各地域の風土との係わりを認識した上で、流域総合水管理技術に関する国際的なネットワークを形成しようとするものである。当該研究グループはプログラム・リーダーを筆頭に、個別の技術については世界的な業績を上げるとともに、アジア地域における指導的な役割を果たしてきている。個々の技術システムをさらに発展させ、各地域の風土、文化との係わりを含めて、流域全体の水管理という視点で、新しい技術システムの世界的な研究教育拠点を創ることが期待される。</p>			